

# 今後の下水道事業の 進め方について

水と緑の部

河川・下水道建設課



# 下水道整備の目標（下水道の普及）

国：下水道による汚水処理の10年概成を目指す（H26.1）

市：汚水適正処理構想  
（H28.3）  
（施設整備を効率的  
かつ適正・確実に  
進めるための方針）

内 容	事業期間
（ <u>第一優先整備</u> ） 臨海部の工業系用途 等を除く市街化区域	令和11年度 まで
（ <u>第二優先整備</u> ） 臨海部の工業系用途 等・市街化調整区域	令和12年度 以降

- ▶ 令和11年度末の下水道普及率 約97%（現況：75.3%）
- ▶ 令和11年度までに残り約1,060haの整備

# 下水道（汚水）の整備状況

令和元年度末  
下水道普及率

市川市：75.3%

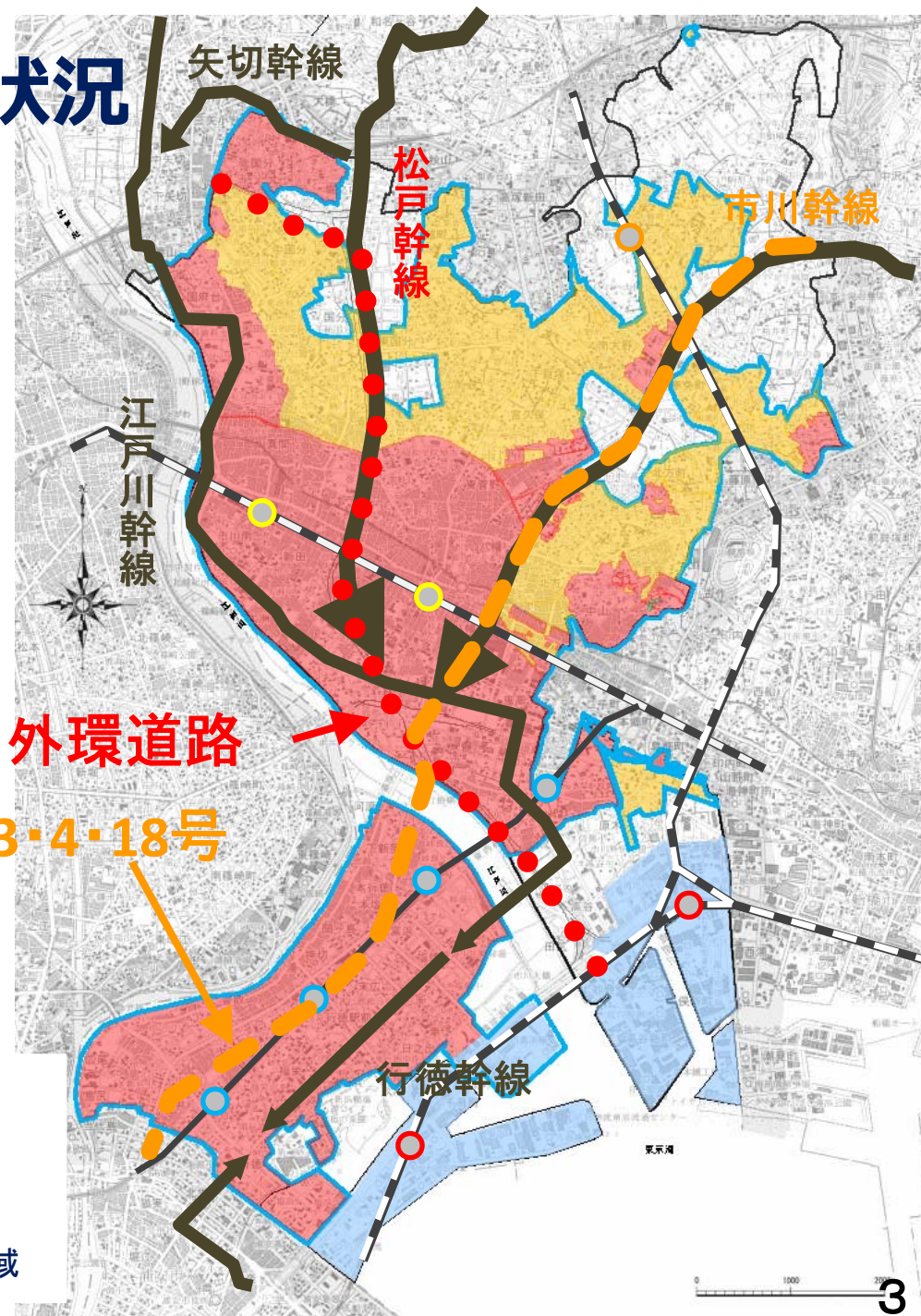
(参考)

松戸市：86.5%

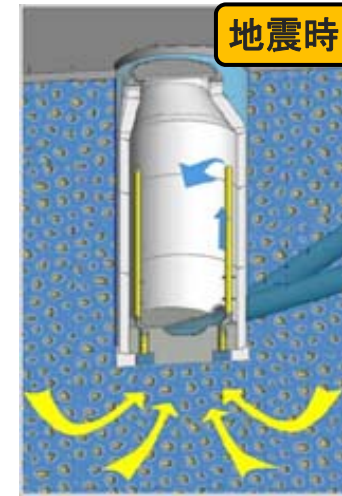
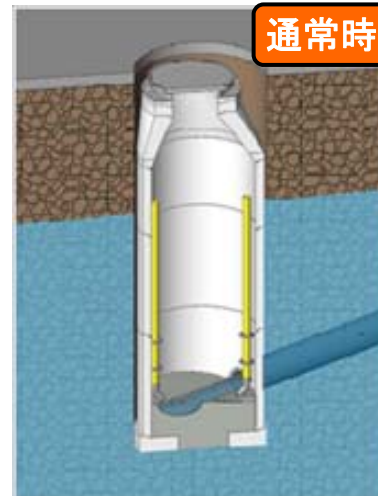
船橋市：88.4%

浦安市：99.7%

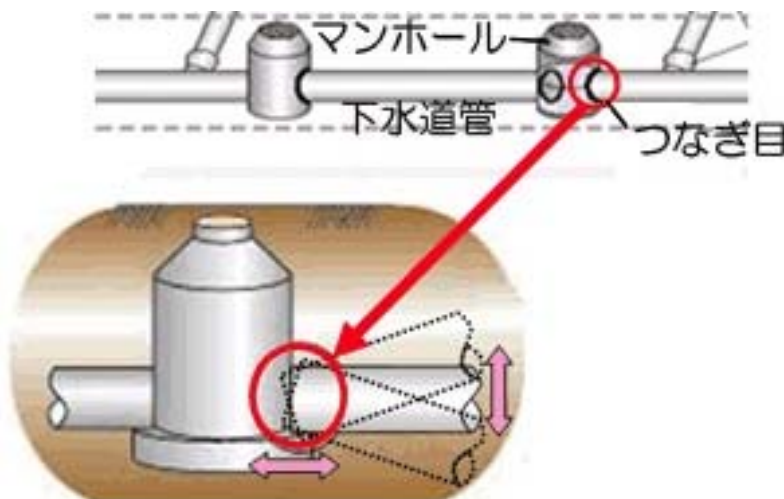
千葉県：75.5%



# 地震対策



[地震によるマンホール浮上防止]



[継ぎ手部の可とう化]



[マンホールトイレの設置] 4



# 老朽化対策

## ◆事業の背景

- ・全国の社会資本の老朽化  
下水道においても膨大な施設ストックを保有

## ◆事業の目的

事故の未然防止及びライフサイクルコストの最小化

### 【市川市の状況】

昭和36年から菅野処理区着手 処理場昭和47年供用開始  
昭和47年から江戸川左岸流域下水道事業に着手し、現在整備中



本市としては、菅野処理区を優先的に実施する

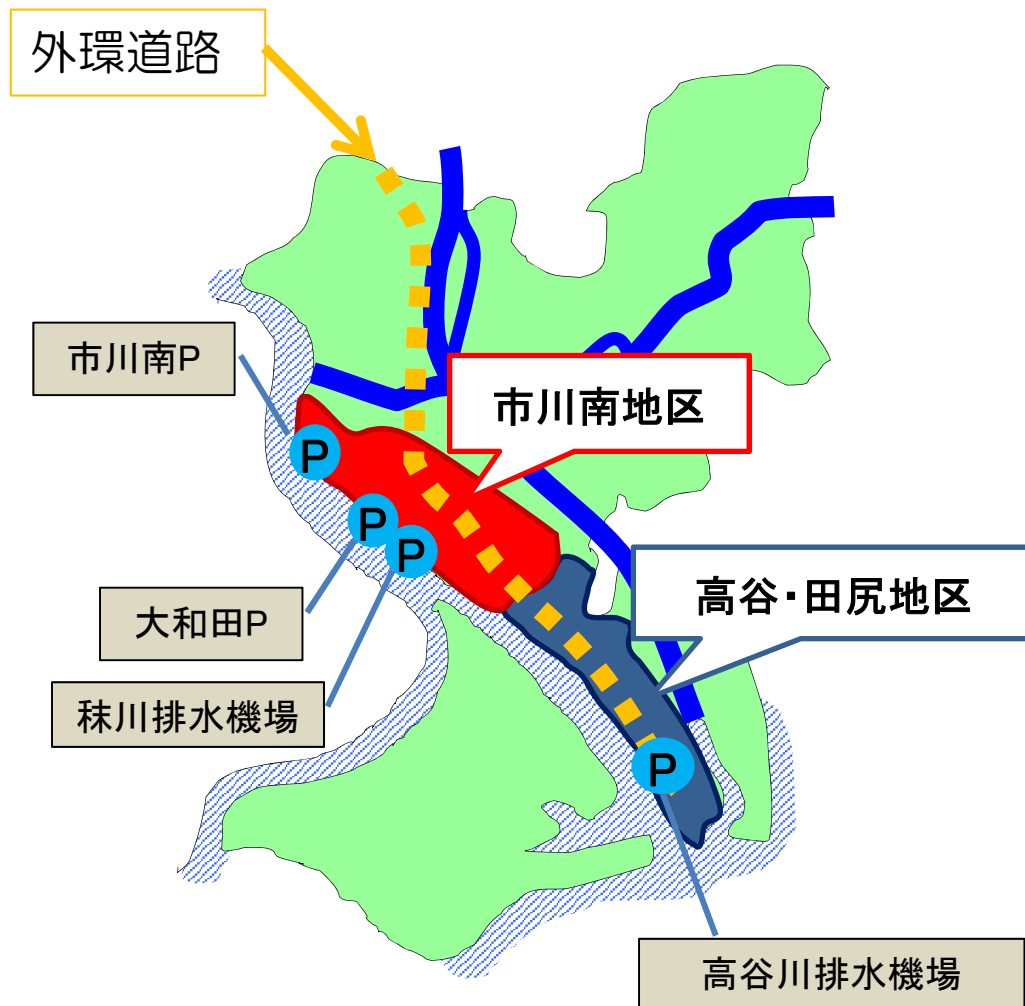
(ストックマネジメント計画)

○菅野処理区 282ha

- ・菅野処理場
- ・真間ポンプ場、菅野ポンプ場
- ・管渠 延長 : 約66km

# 雨水事業 [整備優先地域]

○市川南地区、高谷・田尻地区を整備優先地域に位置付け、重点的に浸水対策を行っている。



# 雨水事業(市川南地区)



## ○見直し内容

- 排水システムの強化  
1系統→3系統へ  
(2ポンプ場を新設)
- 排水能力の向上  
23m³/秒→60m³/秒へ



# 雨水事業(高谷・田尻地区)

○江戸川と真間川に挟まれた低地部、約238haの区域。

